

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	福岡教育大学	整理番号	1-2-048
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	障害児支援経験を通じた教員養成プログラム －豊かな人間性と高い指導力を目指して－		
申請単位	学部単位		
申請担当者	井上 裕之		
<p>(取組の概要)</p> <p>本プログラムは、教員の質に対する社会的要請に応じて、一人一人の心を尊重できる豊かな人間性と個別のニーズに応じられる高い指導力を兼ね備えた教員を養成することを目的としている。その特色は、障害児支援経験を通じた教員養成にある。</p> <p>プログラムの柱はカリキュラムとボランティア支援システムであり、平成11年から各種委員会等の全学協働体制の下で構築してきた。カリキュラム面では、障害児教育関連科目や介護等体験事前授業で学んだ理論を、障害児指導実習科目で体験と融合して計画・実践・評価(Plan-Do-See)のプロセスを学ぶ。ボランティア支援システムは、さらなる体験の深まりとなる障害児支援経験の機会を提供する。</p> <p>例えば学生が障害児支援キャンプ等を自主的にPlan-Do-Seeしている。</p> <p>本プログラムの卒業生は、教育委員会、学校や障害児関係団体等から豊かな人間性と高い指導力を備えた教員として高く評価されている。</p> <p>今後、さらに学生の成果を共有する場や取組みを評価する仕組み等の構築を予定している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、福岡教育大学の教育目標である「広く知識技能を開発し、豊かな教養を与え、もって有為な教育者を養成」するために、平成11年度から全学的に実施されており、学生はもとより、地域の学校から高い評価を受けています。</p> <p>初等中等学校の生徒が多様化し、そこでの教師に求められる資質も複雑化している現在において、すべての教員志望学生に対して障害児の支援体験を通して豊かな人間性と指導力を養成するという本取組の内容は、教員養成教育に対する今日的な要請に応えた優れたものであると認められます。特に、障害への理解を深める目的から、教職専門科目のなかに多くの新設科目を設置し対応している点、地域の公立盲聾・養護学校等での実習を1年次から4年次まで取り入れている点、さらに大学としてボランティア支援の体制を組織化し地域の要請に答えている点など、取組のもつ広がりや組織性はきわめて高く評価されるべきであり、他の大学、短期大学の参考になり得る優れた事例であるといえます。</p>			

また、この取組には、全学的な取組とするには参加学生数が少数である点、取組の有効性を示す客観的データが充分でない点などの課題が認められますが、これらを克服すれば更なる発展が期待されます。